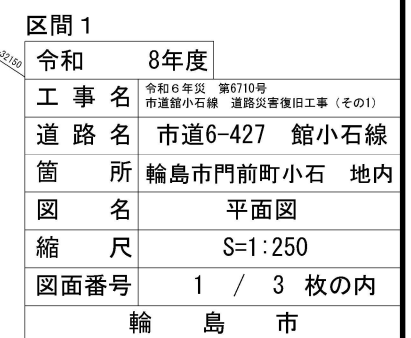
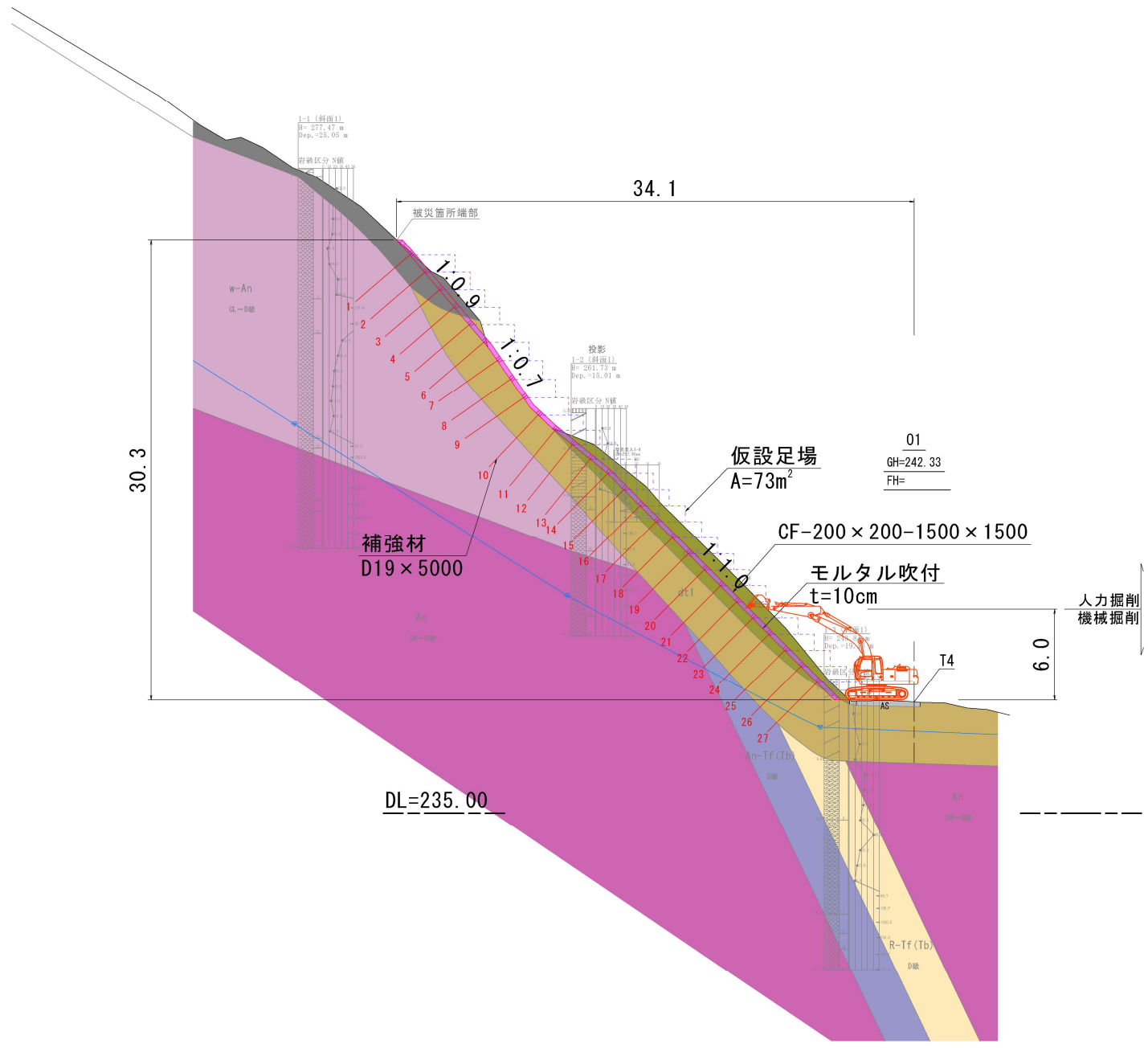


S = 1:250

輪島市
門前町
小石



横断図 S = 1:200
(区間 1-1)



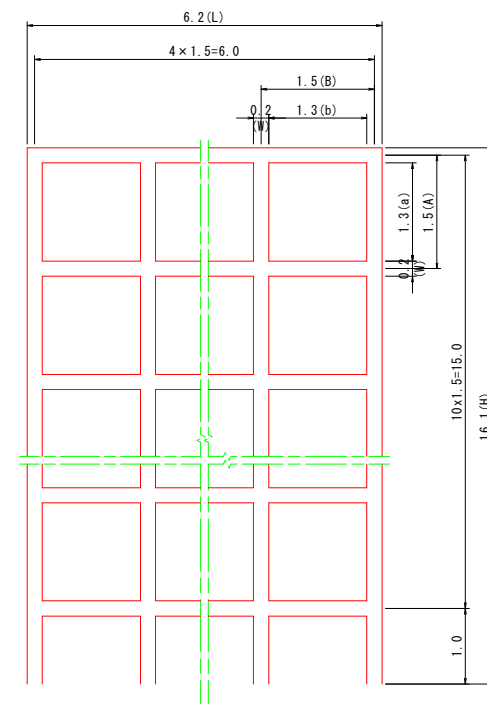
凡 例 (地盤定数 覧)							
地質年代		地層名	凡例	代表 N値	γ_g (kN/m ³)	C (kN/m ²)	ϕ (度)
第四紀		第2崩積土層	dt2	12.3	17.0	0	35.3
		表土	F	—	—	—	—
		第1崩積土層	dt1	7.3	17.0	0	32.6
新第三紀	中新世	風化安山岩層	w-An	21.0	16.7	69.9	30.5
		流紋岩質凝灰岩層	R-Tf(Tb)	23.7	16.9	110.3	20.5
		安山岩質凝灰岩層	An-Tf(Tb)	24.8	17.0	113.4	20.5
		安山岩層	An	132.1	19.8	129.3	36.0

(区間 1-1)

令和 8年度	
工 事 名	令和6年災 第6710号 市道館小石線 道路災害復旧工事 (その1)
道 路 名	市道6-427 館小石線
箇 所	輪島市門前町小石 地内
図 名	横断図
縮 尺	S=1:200
図面番号	2 / 3 枚の内
輪 島 市	

(区間 1-1)

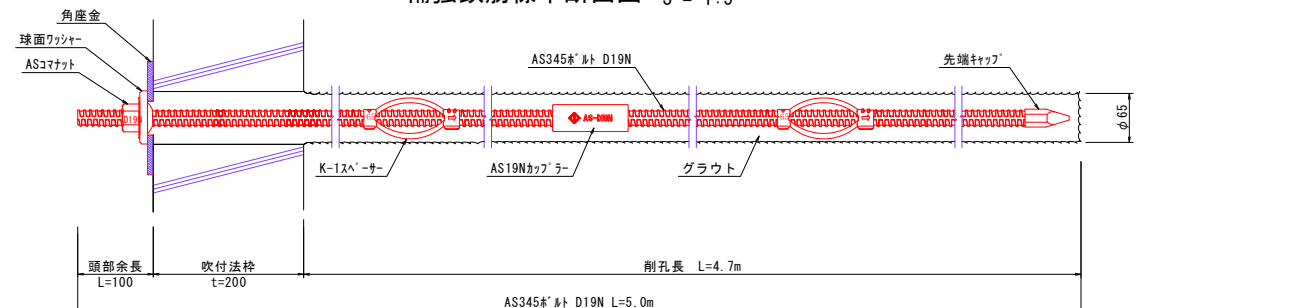
吹付法枠数量算出基本図



《100m2当り数量》			
ラス張工	A =		= 100 m ²
縦 枠	LH = 16.1 × {(6.2-0.2)/1.5+1}		= 80.5 m
横 枠	LL = 1.3 × {(6.2-0.2)/1.5} × {(16.1-0.2)/1.5+1}		= 60.3 m
		法枠長 ΣL	= 140.8 m
枠内収付	A = 100-140.8 × 0.2		= 71.8 m ²
法枠長計算方法			
縦 枠	→ H × {(L - W) / B + 1}		
横 枠	→ b × {(L - W) / B} × {(H - W) / A + 1}		

〔法枠工数量〕			
ラス張工	A =	= 1476.3	= 1476 m ²
枠柱長	L = 1476.3 × 140.8/100 =	2078.6	= 2079 m
枠内収付	A = 1476.3 × 71.8/100 =	1060.0	= 1060 m ²
水切りモルタル	V = (30.1+10.7+30.2) × 1/2 × 0.20 × 0.20 =	1.4	= 1.4 m ³
法枠排水パイプ	L = 0.2m/本 × 631 =	126.2	= 126 m
収付排水パイプ	L = 0.15m/本 × 637 =	95.6	= 96 m
土工（人力掘削）	V = 22.0（横断図参照） × (30.1+40.5)/2 =	776.6	= 780 m ³
土工（機械掘削）	V = 7.4（横断図参照） × (30.1+40.5)/2 =	261.2	= 260 m ³
法面整形	A =	= 1476.3	= 1480 m ²
残土処分	V = (776.6+261.2) / 0.9 =	1153.1	= 1150 m ³

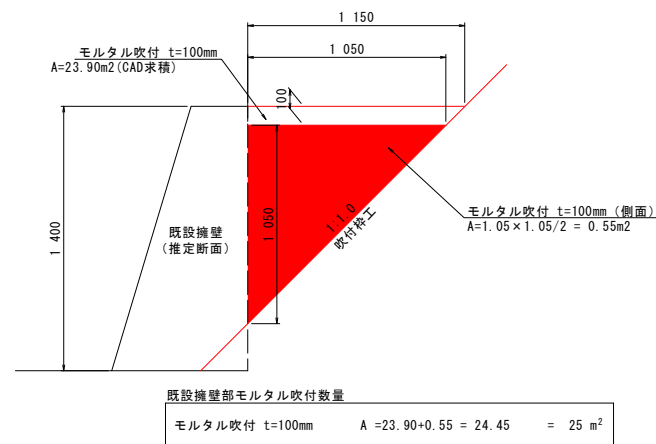
補強鉄筋標準断面図 $S = 1:5$



補強鉄筋材料表

名 称	規 格	単位	L=5.0m	(全 体)	摘 要
(全体本数)		本		624	
			1本当たり		
削孔長	φ65mm (れき質土)	m	2.8 (平均)	1751.8	
	φ65mm (軟岩)	m	1.9 (平均)	1181.0	
AS345ボルト	D19N	本	1 (5.0m)	624	
先端キャップ	D19	個	1	624	
ASコマナット	D19N	個	1	624	
AS19Nカップラー	D19N	個	1	624	
K-1スプーサー	D19-65	個	2	1248	電気めっき 最大ピッチ2.5mで最低2箇所
角座金	150×150×9 (φ45)	枚	1	624	
球面ワッシャー	φ70×10	個	1	624	
注入セメントミルク	σ28≧24N/mm ² W/C=40～50%	m ³	0.022	13.7	π/4×0.065×0.065×削孔長×1.4(ロス)
ボーリングマシン移送		回		26	
足場 (鉄路挿入)		空m ³		2580	73(横断図参照)×(30.1+40.5)/2=2576.9

a-a断面 $S = 1:20$



令和	年度
工 事 名	令和6年度 第6710号 市道館小石線 道路災害復旧工事（その1）
道 路 名	市道6-427 館小石線
箇 所	輪島市門前町小石 地内
図 名	吹付法枠工展開図
縮 尺	S=図示
図面番号	4 / 5 枚の内
輪 島 市	